



16日から就職試験が始まっている。もうすでに受験を済ませた人、これからの人さまざまである。
22日までに、就職を希望する90名の生徒のうち75名の生徒の試験が終了します。
内定の通知が来るまでは、心配な日々が続きますね。出してもらうようになっていきます。皆さんも受験するにあたり、先輩の書いた報告書を見ることで、大きな助けになったと思います。記憶の鮮明なうちに提出してください。また、この提出がないと、可否の連絡ができません。報告書を提出するまでが、就職試験です。
これから、専門学校や私立

生徒と保護者のための
週刊
かわら版

就職試験始まる



先見コーナー

- 9/23(土)○秋分の日 ○ドローン検定
- 9/24(日)○県職員採用試験(本校) ⇒校內立ち入り禁止
○全商情報処理検定
○吹奏楽部 肝付公演(肝付町文化センター)
開場:13:00 開演:13:30
- 9/25(月)○全校朝会
○2年医福介護実習(～11/2) 1年(～9/29)
- 9/28(火)○2年キャリア教育プログラム(～28日)
- 9/30(土)○土曜補習(e・プ・特)・中学生統一模試
○第二種電気工事士(筆記) ○第12回自専攻科OC
- 10/01(日)○自動車整備士試験
- 10/02(月)○1年医福校内指導(～8日)
○2年自動車工学科インターンシップ(～8日)
- 10/04(水)○2018年センター志願票提出
- 10/04(水)○中高連絡会(北薩)
- 10/06(金)○中高連絡会(指宿) ○青少年赤十字の日
- 10/07(土)○私学振興大会(市民文化ホール)
○英検1次(準会場)
- 10/08(日)○英検1次(準1級・1級)
- 10/09(月)○体育の日
- 10/10(火)○1年医福介護実習(～1日)

次のかわら版16号は9月29日(金)発行予定です

自転車を 利用する人に朗報

「赤色TSマーク」について、リーフレットを配付しました。現在乗っている自転車を「自転車安全整備店」で整備点検してもらうと、「赤色TSマーク」のラベルシールがもらえます。それを該当の自転車に貼付しておくことで、対人最大一億円の補償を受けられるのです。自転車の事故が多く発生しています。想像以上の賠償金が発生したケースも多いようです。一年に一回の定期点検を受けただけで、この保険に加入でき

ます。
バンフレットをご覧になり整備店でぜひ、整備点検を受けていただきたい。生徒だけでなくごなたでも！

スクールカウンセラー

当面のスクールカウンセラーの先生(臨床心理士)の来校日は次のとおりです。ご希望の日の一週間前までに担任または直接教育相談部までお電話ください。教育相談部で日程調整をします。
○9月29日(金)
○10月6日(金)
○10月13日(金)
最終受付時間は11時30分

最近のHP更新

学校ホームページが刷新されました。スマホやタブレットでも文字や段組みが崩れることなく閲覧できます。頻繁に記事も更新されています。ぜひ、ご活用ください。過去に発行された「かわら版」もご覧いただけます。

清流

- 県高等学校新人陸上競技大会 決勝結果
- 愛媛国体 水泳部3名入賞
- 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会(優勝(卒業生))
- 学生による挙式プロデュース(情報処理科)
- 第56回体育祭
- NPO法人 幼い難民を考える会(CYR)講演会
- 秋の体験入学ご案内

資格試験情報

- グラフィックデザイン 締め切り9月26日
- 第3級陸上無線 受験希望調べ 締め切り9月26日
- CG-A-R-T-S検定 締め切り9月29日
- 全商ビジネス文書 締め切り10月4日

※試験日の変更

リスニング英語検定
10月13日(金) 7限目を
10月16日(月) 1限目に変更
更しす。16日は中間審査予備日です。不都合があれば届けてください。

鹿児島に上陸した台風18号だったが、鹿児島市内はそれほど強い風雨を感じなかった。翌日、「大したことなく良かったですね」とあやうく出そうになったことを飲み込んだ。甚大な被害のあった地域についてニュースは伝えていた▼赤十字の活動は人道をバックボーンにしている。失われる人の生命や尊厳を目の前にした時、沸き上がる感情は国籍、民族、宗教などの差異に関係なく、似通っている。それが人道である▼人道には敵が四つ存在する。「わがままな心」、目の前のできごと、「無関心なこと」、目の前のできごとを見て、その苦痛を「想像する力が欠如すること」、苦痛を想像するが、それを「解決するための知恵がないこと」である▼自分のことだけでなく、災害のあった土地のことに関心をもち、その苦しみや悲しみを想像し、どうしたら少しでも力になれるだろうかと考え、実行できたらと思う▼力なき者は知恵でもって、知恵なき者は財でもって、財なき者は心でもって被災地に関心をもちたい。腕力もアイデアも金銭的な援助もできないとしたら、せめて被災地の復興を祈るだけでもよい。それが、思いやりであり、人類が築きあげてきた知恵である。